

会員より ～ グリーンインフラに関する会員の取組を紹介します！ ～

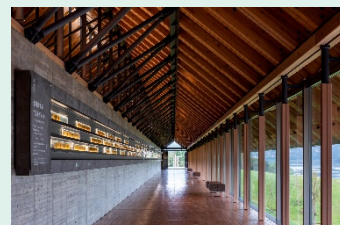
■ 過去7万年の環境変化を記録する水月湖年縞(ねんこう)を展示する福井県年縞博物館

北川 淳子（福井県年縞博物館）

年縞とは、1年毎の縞模様をつくる特殊な堆積物である。1年毎の縞模様はその年の環境を記録している。福井県若狭地方にある三方五湖の1つ水月湖には年縞が過去7万年も堆積し、福井県年縞博物館はその実物展示をしている。

●水月湖年縞と福井県年縞博物館

- 水月湖は過去7万年もの連続した年縞を保存している世界でも非常に稀な湖である。水月湖年縞からは放射性炭素年代測定の測定値のズレを正す(校正する)データが得られ、2013年より世界で利用されている年代の基準となっている。そのため、水月湖年縞は世界でもっとも正確な年代のわかる堆積物と言える。福井県年縞博物館は、世界基準となる年縞を7万年分すべて完全に連続した形で展示している。



水月湖年縞万年ギャラリー

●地球の気候変動の仕組みの展示

- 堆積物には花粉やプランクトンなどの粒子が含まれ、それらを調べることで過去の環境を知ることができる。年縞博物館では、水月湖年縞でわかる過去の気候変動やその仕組みについて、地球の自然な働きによるものと、人間活動によるものの両方を展示している。

●地球の気候変動の仕組みの展示

- 福井県は過去に何度も大きな洪水災害を経験しているが、水月湖年縞にも過去の洪水が記録されている。それを基に予測をし、自然との関わり方を検討する材料ともなる。館内では自然との関わり方を考えるコーナーとして、日野川(福井県)の河川沿いに広大な湿地をつくり、洪水緩和と生物多様性の保全を目指したグリーンインフラの取り組みを紹介している。



福井県日野川グリーンインフラ紹介

詳細はこちらから ▶▶▶ 「福井県年縞博物館公式HP」
(<https://varve-museum.pref.fukui.lg/>)

■ 河川環境を定量的に評価する試み

— 進む河川環境管理シート(環管シート)の活用 —

中村 圭吾(土木研究所)【技術部会長】

国土交通省では、河川環境の簡易な定量的評価として12の生息場を中心とした河川環境管理シートの活用が進んでいます。このシートによって河川環境の把握が容易になり、整備計画等に活用されています。

河川環境管理シートの作成マニュアル「実践的な河川環境の評価・改善の手引き(案)」
(<http://www.rfc.or.jp/result4.html>)

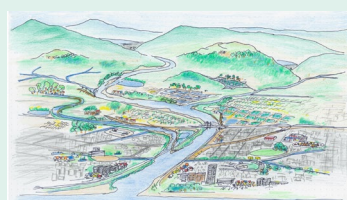
● 生息場を中心に簡易に、定量的に、体感できる指標を



代表区間を手本に再生

- 河川環境管理シートは、水際の自然度や自然裸地(河原)など12の生息場(ハビタット)情報を河川の上下流方向1km毎に定量的に評価します。評価には河川環境の定期調査である「河川水辺の国勢調査」を活用し、余分なコストがかからない工夫がされています。上下流方向に同じような環境の区間(5~15km程度)ごとに代表区間(1km)を選び、そこを手本にその他の区間の保全・再生を試みます。

● 河川環境を軸に各河川で河川管理への応用が広がっています



全体像をつかんで
川づくりを実践する

- 河川環境管理シートは河川環境の管理だけでなく、治水事業の情報も入れて、治水事業の中で自然再生が試みられたり、水辺利用の可能性を評価したり、河道内の樹林の様子をシートに落とし込み河川管理に活用するなど、現場ごとに工夫されさまざまな応用が進んでいます。

河川環境管理シートに関するセミナー動画はこちらから▶▶▶

「大河川における多自然川づくり WEBセミナー 第4回」
(http://www.rfc.or.jp/ivent2021_daikasen4.html)

プラットフォームより

■政府の動き

2021年11月26日

生物多様性国家戦略小委員会(第1回)が開催されました

令和4年9月頃の次期生物多様性国家戦略の策定に向け、中央環境審議会自然環境部会の下に設置された生物多様性国家戦略小委員会が開催されました。

①生態系の保全・再生の強化、②幅広い社会的課題への対処におけるNbSの積極的活用、③ビジネスと生物多様性の好循環とライフスタイルへの反映、の3つのポイントに沿って、関係省庁からの施策ヒアリングを行いました。

国土交通省においては、グリーンインフラの社会実装を取組の1つとして掲げています。

詳細はこちらから▶▶▶「生物多様性国家戦略小委員会(第1回)」
(<https://www.env.go.jp/council/12nature/y128-01b.html>)

プラットフォーム活動報告

2021年11月25日

オンラインセミナー(世田谷区におけるグリーンインフラの取組)を開催しました

<開催概要>

世田谷区の先進的な取組を紹介した後、質疑応答・ディスカッションを行いました。



2021年11月30日

業界団体セミナー(公益社団法人雨水貯留浸透技術協会共催)を開催しました

<開催概要>

「グリーンへのブルーの期待と貢献〜くらべてみよう！雨水貯留浸透とグリーンインフラ〜」をテーマとして、(公社)雨水貯留浸透技術協会と共催でオンラインセミナーを開催しました。



今後の予定

2021年12月20日 合同部会(Web開催)

<予定内容>

- ・オレゴン州ポートランド市環境サービス局次長である Dawn Uchiyama氏による特別講演
- ・今年度のプラットフォーム各部会の取組状況報告及び意見交換

会員以外の方もYouTubeよりご覧いただけます▶▶▶
「YouTube同時配信」(<https://youtu.be/ubSIOdCEq8g>)

会員情報

会員数:1277人・団体 (2021年11月30日時点)

● 新たな一号会員

長野県 飯田市、大阪府 河内長野市、三重県 松阪市

● 新たな三号会員 (民間企業、学術団体等)

株式会社為助(バイクプラス)、北海道ポラコン株式会社、NPO法人登別自然活動支援組織モモンガくらぶ、公益財団法人東京都都市づくり公社、三島商工会議所、バルテクス株式会社、株式会社オフィスSKG、株式会社荒谷建設コンサルタント、株式会社IHI、株式会社ハイクレー、大阪造園土木株式会社、特定非営利活動法人コレクティブハウジング社

人物紹介 グリーンインフラに携わる方々を毎月紹介します



さかい しょうへい
酒井 翔平 福岡県→北海道

国土交通省
都市局 都市計画課
課長補佐

これまで公園や都市農地に関する業務、ケアでの勤務等を経て、現在、農あるまちづくりや緑の基本計画等に携わっています。グリーンインフラが社会課題の解決に寄与し、人と自然とが共生する社会となるよう、多くの方と意見交換できれば幸いです。



随時会員募集！
(登録無料)

団体でも個人でも登録可能です。
是非左記サイトからご登録をお願いします！